

項目	内容
名称	トウチュウカソウ、冬虫夏草 [英]Cordyceps、Plant worms、Vegetative wasps [学名]Cordyceps sinensis
概要	 <p>トウチュウカソウは、キノコ (胞子) が昆虫 (主に鱗翅目、鞘翅目の幼虫) に寄生して、その体内に菌糸の固まりである菌核を充満させ、時期が来ると昆虫の頭部や関節部から棒状の子実体 (キノコの地上部) を伸ばしたものの総称である。冬は虫で夏になるとキノコ (草) になることから冬虫夏草と呼ばれている。コウモリガの幼虫に寄生するチベット産のもの (Cordyceps sinensis) が有名であるが、他にも多くの種類がある。古くから中国で用いられてきた漢方素材の一つである。</p>
法規・制度	<p>■食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トウチュウカソウ (ホクチュウソウ) 子実体及びその寄主であるセミ類やコウモリガ科の幼虫を乾燥したもの：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<ul style="list-style-type: none"> ・ Cordyceptic acid (キナ酸の異性体) 7%、その他ステロール：ergosterol、cholesterol、campesterol、sitosterol など、また抗菌成分cordycepinを含む。
分析法	-

有効性

ヒトでの評価	循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
	消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
	糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
	脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	RCT ・健康な男性10名 (19~40歳、日本) を対象とした二重盲検クロスオーバー試験において、トウチウカソウエキスを1 g/100 g含む冬虫夏草菌糸体エキス飲料を1日1回、1週間摂取させ、平均21分間のトレッドミル走行の運動負荷を行ったところ、運動直後の心拍数、体重あたりのVO ₂ 、拡張期血圧、血液中の平均乳酸蓄積量、SOD量が減少した (2003052593)。

参考文献

- (29) 牧野和漢薬草大図鑑 北隆館
(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第1版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳
(30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について)
(92) 現代中薬薬理学 天津科学技術出版社
(2003052593) 日本運動生理学雑誌.2002;9(2):85-92.
(7) 中薬大辞典 小学館
(91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS)
(2005052247) 日本癌治療学会誌. 2004:39(2);426.